

《担当者名》 中安 隆志 nakayasu@hoku-iryo-u.ac.jp 宮地 普子 八木 こずえ

【概要】

本科目は、精神障害のある人々の生活を支えるために必要な看護実践の展開方法を学ぶことを目的とする。多様化する社会や家族に目を向け、精神看護が目指す役割、機能について学ぶ。また、精神障害のある人の語りを聞くことや相互交流の機会をもつことで対象理解を深め、実際に地域生活を営む彼らを支える制度や社会資源の活用、支援のありかたについて考える。

【学修目標】

1. 精神障害の回復過程を支えるための考え方および援助技術の方法を説明できる。
2. コミュニケーションの基本技術を用いて精神障害のある人と交流し理解を深めることができる。
3. 精神障害のある人への看護過程の展開方法が説明できる。
4. 精神障害のある人の地域生活を支えるために必要な法制度や支援の考え方を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	演習のねらいと構成・進め方・評価方法を知り、予習・復習を含めた受講計画をたてる。	八木
2	精神看護における対人関係 自己理解と他者理解の方法	精神看護における対人関係の意義や役割を説明できる。プロセスレコードの活用方法、分析方法、効果・留意事項を説明できる。	八木
3	治療・ケアの技法： コミュニケーションの方法	コミュニケーションの基本を説明できる。	八木
4	治療・ケアの技法： SST・アサーション	SST・アサーションの考え方と方法、その実際を知り、内容を説明できる。	八木
5	看護過程の展開 1	事例 1（課題）への取り組み方を説明できる。 統合失調症急性期・慢性期の特徴やケアの視点、看護の方法を説明できる。	宮地
6	看護過程の展開 2	事例 1（課題）の情報の整理とアセスメントに取り組み、内容を説明できる。	宮地
7	看護過程の展開 3	事例 1（課題）のアセスメントと全体像に取り組み、内容を説明できる。	宮地
8	対象者とのコミュニケーション 1 (Aグループ)	対象者への疑問について小グループでディスカッションし質問内容や会話技法を考え、内容を説明できる。	服部篤隆（特別講師） 中安
	対象者とのコミュニケーション 1 (Bグループ)	対象者への疑問について小グループでディスカッションし質問内容や会話技法を考え、内容を説明できる。	服部篤隆（特別講師） 八木
	対象者とのコミュニケーション 1 (Cグループ)	対象者への疑問について小グループでディスカッションし質問内容や会話技法を考え、内容を説明できる。	服部篤隆（特別講師） 宮地
9	対象者とのコミュニケーション 2 (Aグループ)	小グループで検討した質問内容をもとに、コミュニケーション技術を活用し、グループ全体で共有しながら当事者と交流を図る。質問などのやり取りを通して対象者理解を深め、学びを説明できる。	服部篤隆（特別講師） 中安
	対象者とのコミュニケーション 2 (Bグループ)	小グループで検討した質問内容をもとに、コミュニケーション技術を活用し、グループ全体で共有しながら当事者と交流を図る。質問などのやり取りを通して対象者理解を深め、学びを説明できる。	服部篤隆（特別講師） 八木
	対象者とのコミュニケーション 2 (Cグループ)	小グループで検討した質問内容をもとに、コミュニケーション技術を活用し、グループ全体で共有しながら当事者と交流を図る。質問などのやり取りを通して対象者理解を深め、学びを説明できる。	服部篤隆（特別講師） 宮地
10	看護過程の展開 4 (Aグループ)	各自が取り組んだ事例 1（課題）をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	宮地

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	看護過程の展開4 (Bグループ)	各自が取り組んだ事例1(課題)をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	八木
	看護過程の展開4 (Cグループ)	各自が取り組んだ事例1(課題)をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	中安
11	看護過程の展開5	事例2(課題)に取り組み、情報の整理とアセスメントを行い、看護計画を立案する。	宮地
12	看護過程の展開6 (Aグループ)	各自が取り組んだ事例2(課題)をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	宮地
	看護過程の展開6 (Bグループ)	各自が取り組んだ事例2(課題)をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	八木
	看護過程の展開6 (Cグループ)	各自が取り組んだ事例2(課題)をもとに、さらに小グループに分かれて意見交換を行う。他者の意見を参考に視点を広げ、内容の追加・修正を行う。	中安
13	地域生活を支える視点1	わが国の精神医療の現状をふまえ、リカバリーの概念および地域生活における看護ケアの視点を知り、内容を説明できる。	宮地
14	地域生活を支える視点2	地域生活を営む当事者の生活や地域社会における活動の実際から、リカバリーについて考えを深め、内容を説明できる。	服部篤隆(特別講師) 中安
15	地域生活を支える視点3	地域生活を支える方法として訪問看護に必要な考え方や関わりのあり方、役割・機能の実際を知り、内容を説明できる。	中安

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート課題20%、定期試験80%

【教科書】

系統看護学講座 精神看護の基本 精神看護学 医学書院
 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学 医学書院

【備考】

授業時間中にGoogle Formを活用して理解度や考察内容を把握する。

【学修の準備】

提示された事例課題をよく読み、授業計画に基づいて各演習に取り組むこと(予習復習1時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

中安隆志(精神看護専門看護師)、八木こずえ(精神看護専門看護師)、宮地普子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院での看護師、精神看護専門看護師としての実務経験に基づき実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している